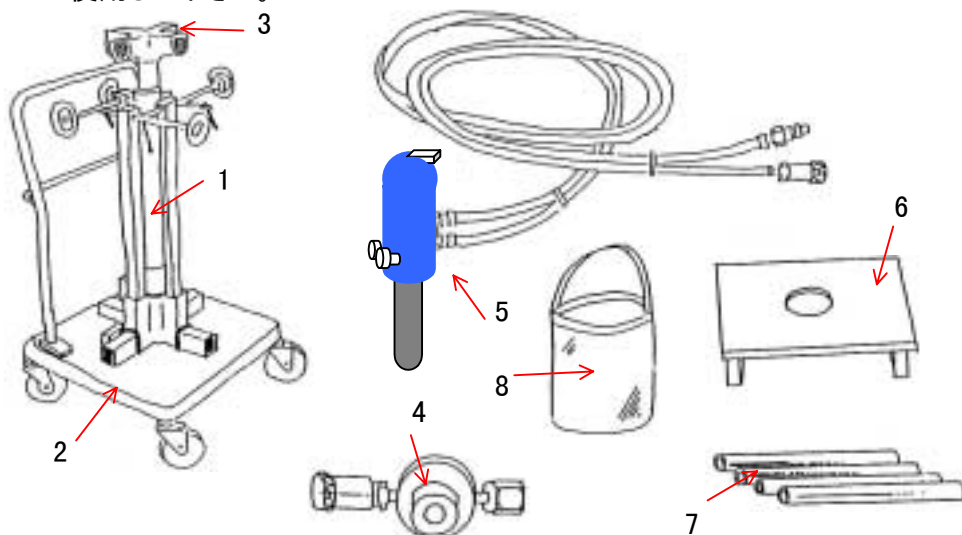
# EA901EX－56(ガスリフト－最大積載量 150kg)取扱説明書

⚠ 御注意

・この取扱説明書を必ず読み、よく理解してから本機を使用して下さい。
　安全使用方法を怠ると、事故やケガのもとです。
・本機は炭酸ガス専用機です。エアーコンプレッサーでの使用は、誤作動の原因となり
　危険ですので、必ず炭酸ガスで使用して下さい。

◆部品図

1. シリンダー
2. 台車一式
3. 荷台
4. 気圧レギュレーター
5. コントロールグリップ
　（ガスホース付）
6. 木製荷台
7. パイプ
8. ツールバッグ

⚠ 取扱における禁止事項

①リフトは荷物専用ですから、人は絶対に乗らないで下さい。

②炭酸ガス専用です。エアーコンプレッサーを使用されますと、
　故障の原因になります。

③荷物が落下しますと危険なので、荷台の下には入らないで
　下さい。

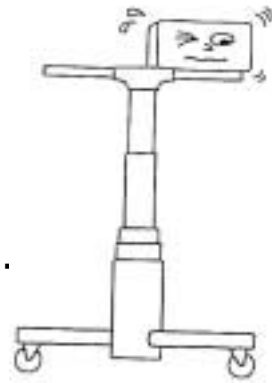
④強風下では使用しないで下さい。

⑤気圧レギュレーターは、最大荷重にあわせて工場出荷時に
　調整してありますので、絶対に、分解・再調整をしないで
　下さい。

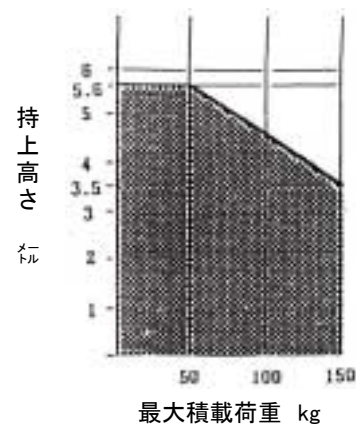
⑥荷物は、実際にはエアークッションの上に浮いている
　ような状態ですので、荷物を外すとき、特に注意して
　下さい。（シリンダーが急に上がります。）

⑦コントロールバルブのレバーやボタンを押放しで操作すると、
　荷物が特に軽量の場合や、コントロールバルブ内 にごみが
　詰まった時等にトラブルが発生する恐れがありますので、
　リフトの作動は必ずコントロールバルブのレバー、ボタンを
　断続的に操作して、ガスの導入を行って下さい。

## ⚠取扱における注意事項

（a） しっかりとした水平な地面にて使用して下さい。
　また、ぐらつかないことを確認して下さい。
（b） 積荷は、荷台中央に置いて下さい。もし左右のバランスが異なった
　時直ちに降下させて下さい。
（c） 圧力は、0．83MPa以下で使用して下さい。
（d） 炭酸ガス以外のガスは使用しないで下さい。
（e） 装置の安全性と機能を確保するために、付属のコントロールグリップ・
　気圧レギュレーターを必ず使用して下さい。（分解、改造は
　しないで下さい。）
（f） レギュレーターは、最大荷重に合わせて工場出荷時に調整して
　あります。
（g） 上昇時には積荷がぐらつかないように、ロープで荷台に固定して下さい。
（h） 荷物を昇降する場合、必ずアウトリガーを取付けて、キャスターをロックし作動させて下さい。
（i） リフトは、積荷重量位置が変ると伸縮しますので、充分注意して下さい。
（j） 全ての接続が安全かどうか、確認して下さい。
（k） ボンベは必ず垂直に立て、ボンベのバルブはゆっくり開いて下さい。
（l） リフトを使用していただく前に、コンントロールバルブを断続的に操作して一、二度慣らし運転を行って
　下さい。（コントロールバルブのレバー、ボタンを押放しで操作すると、急激にガスが導入されて、トラブルが
　発生する恐れがありますので、必ずゆっくり断続的なレバー、ボタン操作をお願いします。）特に、しばらく
　お使いいただかなかった時には、必ず実行して下さい。
（m） ホイストはいつでも円滑に運転できるように、製造工程において充分注油をしています。
　そのため、初めて使用されるとき、余分な油が飛び散ることがあります。
（n） 作業終了後は必ず、ボンベのバルブをしめて下さい。
（o） 4ページの〈手入れ〉は必ず実行して下さい。
（p） 上昇・下降時、周りに人または障害物がないことを確認して作業を行って下さい。
（q） リモートコントロール式です。本機から作業者が離れて、荷重の安定に注意しながら、作業を行えるよう
　に設計されています。

◆ 推奨積載重量

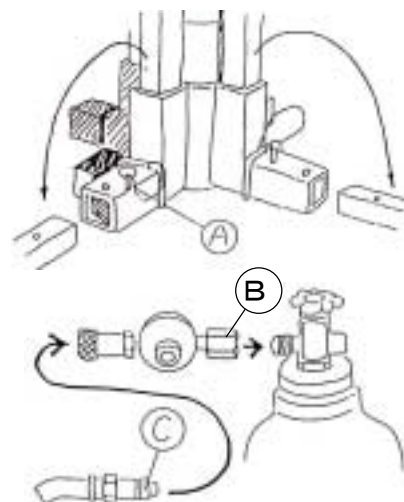
安全保護の為、必ず右図の荷重範囲内で使用して下さい。
（例）EA901EX－56で5．6mあげる場合、最大積載量は、
　50kgまでです。
《注意》最大積載重量：150kgの積荷を、最高特上高さ：
　3．5mまで持ち上げる場合は、安全確保の処理をお願い
　します。（圧力は0．83MPa以下でご使用下さい。）

最大積載荷重　kg

◆ 組立方法

1. 脚を保管位置から使用位置へ差し替えて下さい。
　固定ピンAを外し、脚を奥まで一杯に差し込んだ状態で再び
　固定ピンをセットして下さい。

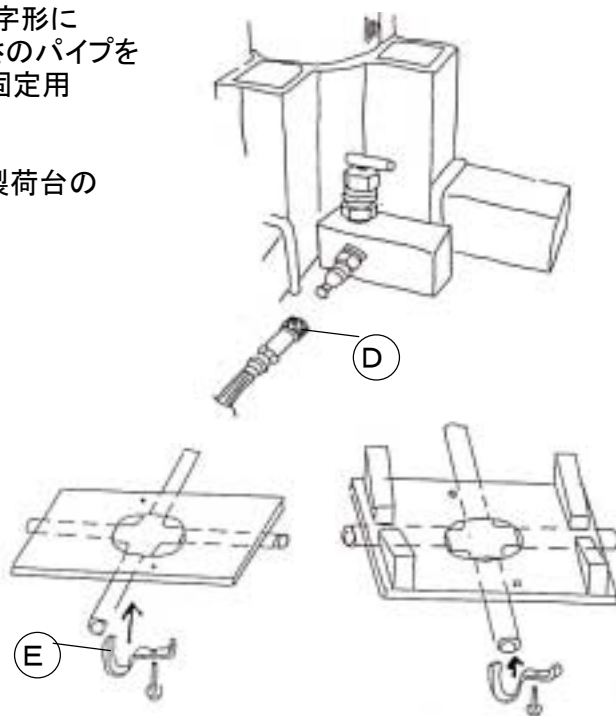
2. 気圧レギュレーターをボンベに取り付けて下さい。
　ガス漏れがないよう、コネクティングナットBをしっかりと
　締め付けて下さい。

3. コントロールグリップからの赤色ホースのカプラーCを気圧
　レギュレーター側のカプラーに差し込んで下さい。

4. コントロールグリップからの黒色ホースカプラーDを
　シリンダー下部のカプラーに差し込んで下さい。

5. 荷台には、付属パイプを取付けて下さい。荷台は十字形になっておりますから、作業の内容に応じて様々の長さのパイプを使用することができます。荷台に付いている パイプ固定用ボルトを、しっかり締め付けて下さい。

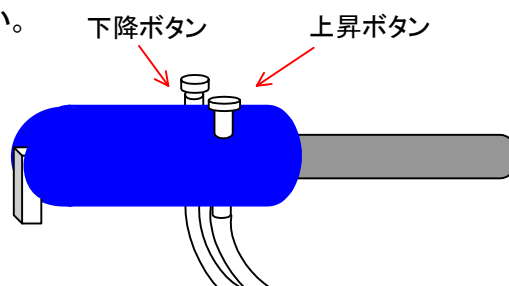
6. 四角形または長方形のものを持ち上げるために木製荷台のパイプクランプEで荷台のパイプに固定して下さい。

7 円筒形のものを持ち上げる場合には、木製荷台を裏返して使用します。パイプクランプEを外し、荷台のパイプにネジでしっかり固定して下さい。作業にあたっては、荷重が荷台の中央にかかるように充分注意して下さい。

8 空荷台を早く降ろしたい時は、荷台にひも取付け用の穴がひらいてありますので、ひもを取付けて頂ければ、ひもを引くことによって荷台を早く降下させることができ、効率よく作業ができます。

◆ 使用前の点検

1. ボンベ、気圧レギュレーター及びコントロールグリップの取付け、接続が安全かどうか、もう一度点検して下さい。
2. ボンベのバルブはゆっくりと開いて下さい。(グリップを左に回す)
   あまり早く開きますと気圧レギュレーターを傷める恐れがあります。
3. ガス漏れがないか、各部の継ぎ目をよく点検して下さい。
4. 荷重は中心にかけ、リフトは水平でのみ使用するように注意して下さい。

◆ 運転

1. 周りに危険物がなく、作業者が作業しやすい所で使って下さい。
2. 上昇レバーを押せば上昇、下降レバーを押せば下降します。
   《注意》上昇レバーは一気に押さず、必ずゆっくり
   断続的に押して下さい。

3. 上昇時の荷台の早さは、上昇レバーの握り具合で調節できます。
4. レバーは荷物が希望の高さに到着する前に離し、最終的な長さの調節は、レバーの小きざみな操作によって行って下さい。
5. このリフトは圧縮ガスを利用していますので、荷物は実際にはエアークッションの上に浮いているような状態になっています。そのため荷物の下の荷台を作業者が手で上げたり下げたりすることにより最終的な高さの調整が可能です。
6. 作業終了後、必ずボンベのバルブを閉めるようにして下さい。また、シリンダー内の圧縮ガスを、必ずゆっくりとコントロールグリップで完全排気して下さい。

《注意》シリンダー内の排気は、コントロールグリップで行って下さい。安全弁での排気は避けて下さい。
(ガスは圧縮性・膨張性があるので、安全弁等を使用して高速排気を行うと、空圧機器特有のスティックスリップが発生して機器全体が異常振動を起こすことがありますので、必ずコトロールグリップでゆっくりと排気・降下させて下さい。

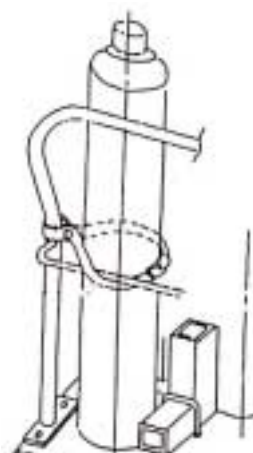
◆手入れ

A 通常の使用条件のもとでは、週一回位柔らかい布等でシリンダーをきれいに拭いていただくだけで充分です。
《注意》シリンダーにグリース、マシン油等は絶対に塗布しないで下さい。

B シリンダーの外部を傷つけないよう、取扱には充分御注意下さい。

C　各部の継ぎ目、ホース、ピンなどを定期的に点検して下さい。
D　新しいうちは、シールやパッキンがきついため、リフトがスムーズに動かないこともありますが、ご使用上
　支障はございません。コントロールグリップを押し放しにせず、断続操作して下さい。

《注意》リフトシリンダー、コントロールグリップは、精密機器です。丁寧にお取扱いお願いします。
　また絶対に、調整、分解はしないで下さい。

〔ヒント〕　図のようにセンターバーの下側にボンベ固定バンドを
　回すと、バンドが上方向にずれず、ボンベをしっかり
　固定することができます。

＊記載内容、仕様は、性能向上の為に、予告なく変更することがありますので予め御了承下さい。

株式会社　エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀３－８－１４
TEL (06)6532-6226　FAX (06)6541-0929
東京／TEL（０３）３４５０－４００３